

# 和歌山縣報

第八百八十一號

明治四十二年五月三十日

## ○告示

○和歌山縣告示第四百四十八號

府縣制第六十八條第二號ニ依リ縣參事會ノ議決ヲ經タル明治四十二年度和歌山縣歳入歳出追加豫算左ノ如シ

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

明治四十二年度和歌山縣歳入歳出

追加豫算

歳入臨時部

第一款 繰越金 金貳百貳拾七圓九拾壹錢

郡市收入

第一項 前年度繰越金 金貳百貳拾七圓九金壹錢

郡市收入

第六款 教育獎勵費 金千八百九拾參圓

第一項 普通教育獎勵費 金千八金九拾參圓

歲入計金貳千百貳拾圓九拾壹錢

歲出經常部

第七款 教育費 金貳千百貳拾圓九拾壹錢

第二項 中學校費 金貳百貳拾七圓九拾壹錢

第八項 普通教育獎勵費 金千八百九拾參圓

歲出計金貳千百貳拾圓九拾壹錢

○和歌山縣告示第四百十九號

左記ノ種牡牛ハ其使用ヲ廢止シタリ

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

種牡牛廢止年月日	種類	年齡	毛色	高	管理	住所	氏名
----------	----	----	----	---	----	----	----

明治四十二年五月十日	和種	五年	黑色	四尺八寸	日高郡切目村大字島田村上	松太郎	
------------	----	----	----	------	--------------	-----	--

○和歌山縣告示第百五十號

文官又ハ軍人恩給、公立學校職員(小學校ヲ除ク)又ハ看守退隱料、遺族扶助料及賞勳年金ノ受領者ハ各支給期月ノ前月一日ヨリ五日以内ニ其ノ證書ヲ居住地ノ町村長ニ提出シテ檢閲ヲ受クヘシ  
明治三十七年六月和歌山縣告示第百六十號及明治三十八年四月和歌山縣告示第百七十六號ノ規程ハ廢止ス  
明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

○和歌山縣告示第百五十一號

左記ノ通漁業組合地區ノ變更ヲ認可セリ  
明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

漁業組合名

變更地區名

海草郡漁業組合

海草郡黑江町

全郡漁業組合

海草郡木本村大字小屋

右明治四十二年五月二十九日認可

○和歌山縣告示第百五十二號

左記ノ通漁業組合地區ノ變更ヲ認可セリ

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

漁業組合名

變更地區名

有田郡 廣浦 漁業組合

有田郡 廣村 大字 廣及 大字 和田

右明治四十二年五月二十九日認可

○和歌山縣告示第百五十三號

左記ノ通漁業組合地區ノ變更ヲ認可セリ

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

漁業組合名

變更地區名

西牟婁郡 和深川 漁業組合

西牟婁郡 周參見村 大字 和深川

海草郡 松江 漁業組合

海草郡 松江村

右明治四十二年五月二十九日認可

○和歌山縣告示第百五十四號

左記漁業權ハ拋棄ニ因リ消滅シタルヲ以テ之ヲ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

免許年月日 明治四十年十一月十六日

免許番號 七一三

漁業ノ種類及名稱 魷築類漁業鮎瀬張網

消滅年月日 明治四十二年五月二十六日

漁業權者

東牟婁郡明神村大字潤野

沖松次郎

### ○訓令

○和歌山縣訓令第十二號

市役所  
町村役場  
國費支辨ニ屬スル賞勳年金、恩給、退職料及扶助料取扱手續左ノ通定ム

明治三十四年七月和歌山縣訓令甲第四十三號明治三十七年六月知歌山縣訓令甲第三十二號明治三十八年四月和歌山縣訓令甲第十七號及明治三十九年五月和歌山縣訓令第十五號ハ廢止ス

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

賞勳年金、恩給、退隱料及扶助料取扱手續

第一條 市役所及町村役場ニ於テハ賞勳年金、恩給、退隱料及扶助料受領者名簿ヲ備置スヘシ  
名簿ハ附録第一號書式ニ依リ調製シ増減異動ノ都度加除訂正スヘシ

第二條 市町村長ハ前條ノ名簿ニ登録セラレタル者ニ就キテ常ニ其ノ異動ニ注意シ左ノ事故アリ

タルトキハ直ニ知事ニ報告スヘシ

一、轉居轉籍シタルトキ

但シ其ノ地名ヲ詳記スルヲ要ス

二、死亡シタルトキ

但シ戶籍謄本及其死亡前ノ支給金ヲ受クヘキ權利者ノ住所氏名謄ヲ添附スルヲ要ス

三、寡婦孤兒婚姻シタルトキ

但シ戶籍謄本ヲ添附スルヲ要ス

四、金鵝勳章年金繼承受者扶助料受領者戶籍ヲ去リタルトキ

但シ戶籍謄本ヲ添附スルヲ要ス

五、孤兒成年ニ達シタルトキ

但シ戶籍謄本ヲ添附スルヲ要ス

六、後見人變更シタルトキ

七、拘引セラレタルヲ知リタルトキ

八、刑事被告トナリ裁判確定シタルトキ  
九、所在不明トナリタルヲ知リタルトキ  
十、所在不明ノ者發見シタルトキ

十一、恩給退恩料受領者公務ニ就キテ俸給ヲ受クルヲ知リタルトキ  
但シ之ヲ受クルカ爲停止トナラサルモノヲ除ク

第三條 町村長ハ支給期月ノ前月ニ於テ第一條ノ名簿ニ登録セシレ受領ノ權利ニ影響セサル者ニ

就キテ其ノ證書ヲ檢閲シ附録第二號書式ニ依リ證書檢閲報告書ヲ作り同月十日迄ニ知事ニ差出  
スヘシ但シ縣廳ニ於テ直接受領ノ届出アル者ニ就キテハ之ヲ要セス

第四條 賞勳年金恩給等ヲ受クル者其ノ資格又ハ權利ヲ失ヒ若ハ之ヲ停止セラルヘキ事故ノ生レ  
タルトキハ町村長ハ其ノ以前ニ屬スル支給金アルトキハ證書ヲ檢閲シ附録第三號書式ニ依リ報  
告書ヲ作り之ヲ知事ニ差出スヘシ

第五條 新ニ賞勳年金恩給等ノ證書ヲ附與セラレタル場合ニ於テ其ノ證書日附以前ニ屬スル支給  
金アルトキハ市長ハ支給ヲ停止又ハ廢止セラルヘキ事故ノ有無ヲ調査シ町村長ハ第二條又ハ第  
三條ノ手續ニ準テ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

第六條 賞勳年金恩給等ノ受領者ニシテ其ノ證書ヲ縣廳ニ於テ檢閲スル者ハ直接拂ト爲シ町村長  
ニ於テ檢閲スル者ハ其ノ仕拂通知書ヲ町村役場ニ送附シ之ヲ各受領人ニ傳達セシム此ノ場合ニ  
於テ町村長ハ其ノ受領證印ヲ受ケ置クヘシ

第七條 賞勳年金若ハ恩給受領者(戸主ト家族トナリト問ハス)死亡シタルトキハ其ノ死亡期ノ支給額ハ第一次ニ寡  
婦ニ給シ寡婦ナキトキハ勳賞年金支給細則第十條及第十一條若ハ官吏遺族扶助法第六條及第十

條ノ規定ニ準ス

(附録第一號書式)

住 所	和歌山市何町何番地(何村大字何番地)		
證書番號	第何號(何第何號)		
年 額	何 圓	每期ノ給額	何 圓
官 職	何 々	氏 名	何 某
支給停止事故	何年月日何官ニ任セラル(何々)		
備 考	後見人(代理人)何村大字何番地何某		

注 意



一、用紙ハ美濃紙半葉トシ一人一枚トス  
 二、寸法ハ適宜トス

三、官職ノ欄ニ記載スヘキ事項左ノ如シ

イ、兵卒ハ兵種等級ヲ記載スル、遺族ハ故陸軍歩兵曹長何某父(母)等ノ例ニ依リ記載ス

ハ、旭日勳章年金受領者ハ其ノ勳等ヲモ併記スヘシ

ニ、金鷄勳章年金受領者ハ其ノ功級ヲモ併記スヘシ

四、氏名ノ欄ニハ狐兒ニ在リテハ其ノ生年月日ヲモ併記スヘシ

五、名簿ハ旭日勳章年金、金鷄勳章年金、文官恩給、文官遺族扶助料、陸軍恩給、陸軍遺族扶助

料、海軍恩給、海軍遺族扶助料、學校職員退隱料、學校職員遺族扶助料、看守退隱料、看守

遺族扶助料ノ種類毎ニ順序ニ見出ヲ付シ尙各其ノ證書番號順ニ編綴シ之ニ厚表紙ヲ付シ一冊

ト爲スヘシ但シ便宜數冊ト爲スヲ得

(附錄第二號書式)

何カ證書檢閱報告書

證書番號	年	額	何年何月	渡	官職	勳功	住	所	氏	名
第何號	金何圓	金何圓	勳何等	何村大字	何番地	何	某			

(右旭日勳章年金ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 功 何 級 何町大字何番地 某

(右金鷄勳章年金ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 退職何々 (元何々) 何村大字何番地 某

(右文官恩給ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 故何々 何 某 何 何村何番地 何 某

(右文官遺族扶助料ノ例)

甲(丙) 第何號 金 何 圓 金 何 圓 陸(海)軍 何々 何村大字何番地 何 某

(右陸(海)軍恩給ノ例)

乙(丁) 第何號 金 何 圓 金 何 圓 故陸(海)軍何々 何 某 何 何村大字何番地 何 某

(右陸(海)軍遺族扶助料ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 元何學校 何々

何村大字何番地  
何

某

(右學校職員退隱料ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 故何學校何々  
何某 何

何村大字何番地  
何

某

(右學校職員遺族扶助料ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 元何監獄看守

何村大字何番地  
何

某

(右看守退隱料ノ例)

第 何 號 金 何 圓 金 何 圓 故何監獄看守  
何某 何

何村大字何番地  
何

某

(右看守遺族扶助料ノ例)

計 何 名

前記ノ證書ヲ檢閲シ且受領權利ニ影響スル事故ナキヲ認ム

明治 年 月 日

何郡何町(村)長 何

某箇

縣知事宛

注意

一、用紙ハ半紙野紙トス

二、旭日勳章年金、金鷄勳章年金、文官恩給、文官遺族扶助料、陸軍恩給、陸軍遺族扶助料、海軍恩給、海軍遺族扶助料、學校職員退隱料、學校職員遺族扶助料、看守退隱扶助料、看守遺族扶助料ノ種類毎ニ各別紙ニ記載スヘシ

三、前記ノ種類ニ隨ヒ數人ナリ一紙ニ記スルトキハ其ノ證書番號ノ順序ニ依ルヘシ

四、支給ヲ停止又ハ廢止セラルヘキ事故ハ左ノ如シ

イ、賞勳年金ハ明治四十一年勅令第二百九十一號勳章褫奪令ニ依ル  
ロ、文官恩給及同遺族扶助料ハ明治二十三年法律第四十三號官吏恩給法第十二條及同年法律第四十四號官吏遺族扶助法第十四條及第十六條ニ依ル

ハ、軍人恩給及同遺族扶助料ハ明治九年達第九十九號陸軍武官恩給令第四條第九十四條、明治二十三年法律第四十五號軍人恩給法第二十五條第二十九條第三十條及明治三十九年法律第二十九號廢兵院法第三條ニ依ル

ニ、公立學校職員退隱料及同遺族扶助料ハ明治二十三年法律第九十一號府縣立師範學校長俸給

並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法第五條第七條及第十三條ニ依ル

＊ 看守退隱料及同遺族扶助料ハ明治三十四年法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助法第十一條第十二條及第十四條ニ依ル

(附録第二號書式)

何々證書檢閲及事故報告

證書番號	年	額	何年何月分	官職勳功	住	所	氏	名

前記ノ證書ヲ檢閲ス但シ本人ハ明治何年何月何日死亡(婚姻)(戶籍ヲ去ル)(成年ニ達ス等ノ事故ヲ記ス)

明治 年 月 日

何郡何町(村)長 何 某爾

縣知事宛

注 意

一 注意事項ハ附録第二號書式ニ依ルヘシ

○和歌山縣訓令第十三號

明治三十九年<sup>四</sup>月 和歌山縣訓令第十三號ハ廢止ス

明治四十二年五月三十日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

和歌山縣訓令第十三號參照

明治三十九年<sup>四</sup>月 和歌山縣訓令第十三號ハ勸章年金及恩給受領者死亡ノ節取扱方ノ件

### ○通牒照會

○通牒

○内六第九九〇號

明治四十二年五月三十日

内務部長 相良 步

沿海各郡長殿

町村役場御中

露領沿海州出漁者酒精携帶賣却ノ件ニ付依命左記通牒候也

一 露領沿海州方面ニ起ク本邦漁夫ハ從來多額ノ酒精ヲ携帶シテ之ヲ土民ニ賣却スル報告ニ接シ

タル趣ヲ以テ其筋ヨリ通報相成候處右ハ露國消費稅規則ノ禁スル所ナルノミナラス日露漁業協約ノ規定ニモ相背ク義ニテ彼我官憲ニ於テハ相當取締可相成ニ付今後本邦漁夫ニ於テ酒精ノ輸入ヲ再ヒスルニ於テハ延テ漁業監督上多大ノ拘束ヲ加ヘラレ我漁業者ハ益々不利ノ地位ニ陥ルニ至ル虞可有之ニ付此際當業者一般ヘ右心得違ナキ様御諭達相成度

右

○内四第三〇六六號

明治四十二年五月三十日

和歌山縣內務部  
市役所 御中  
町村役場

左記通牒候也

- 一、今般賞勳年金、恩給及扶助料等ノ儀ニ付左記要項ノ通告示及訓令セラレタル處右ハ受領者ノ便宜ヲ圖リ是等事務ノ迅速確實ヲ期スルノ趣旨ヨリ出テタル次第ニ付將來證書檢閱報告又ハ異動報告ノ節ハ時機ヲ失セサル様一層ノ注意ヲ要ス
- 一、本縣告示第百五十號ヲ以テ證書ノ檢閱ヲ受クヘキ時期ヲ殆ト一ヶ月早メラル
- 二、本縣訓令第十二號ヲ以テ其ノ取扱手續ヲ定メ證書檢閱報告期月ヲ一ヶ月繰上ケラレ且異動報告時機等規定セラル

右

○ 辭 令

○ 辭 令

○明治四十二年五月二十六日

和歌山縣屠畜検査技手ヲ命ス

月俸拾圓給與

田邊警察署勤務ヲ命ス

願ニ依リ職務ヲ免ス

退官賜金九拾圓

退官賜金六圓

右明治二十三年勅令第九十八號ニ依リ之ヲ給ス

○明治四十二年五月十九日

給五級俸

○明治四十二年五月二十七日

明治四十二年度施行小學校教員檢定臨時委員ヲ命ス

福田義照

屠畜検査技手

森 關 藏

元西牟婁郡書記

根 來 綿 史

元有田郡書記

吉 田 精 一

和歌山縣屬

巽 正 頁

新宮中學校助教諭心得

高 砂 熊 吉

東牟婁郡視學

久 保 嘉 七

西牟婁郡書記

中 村 辰 之 助



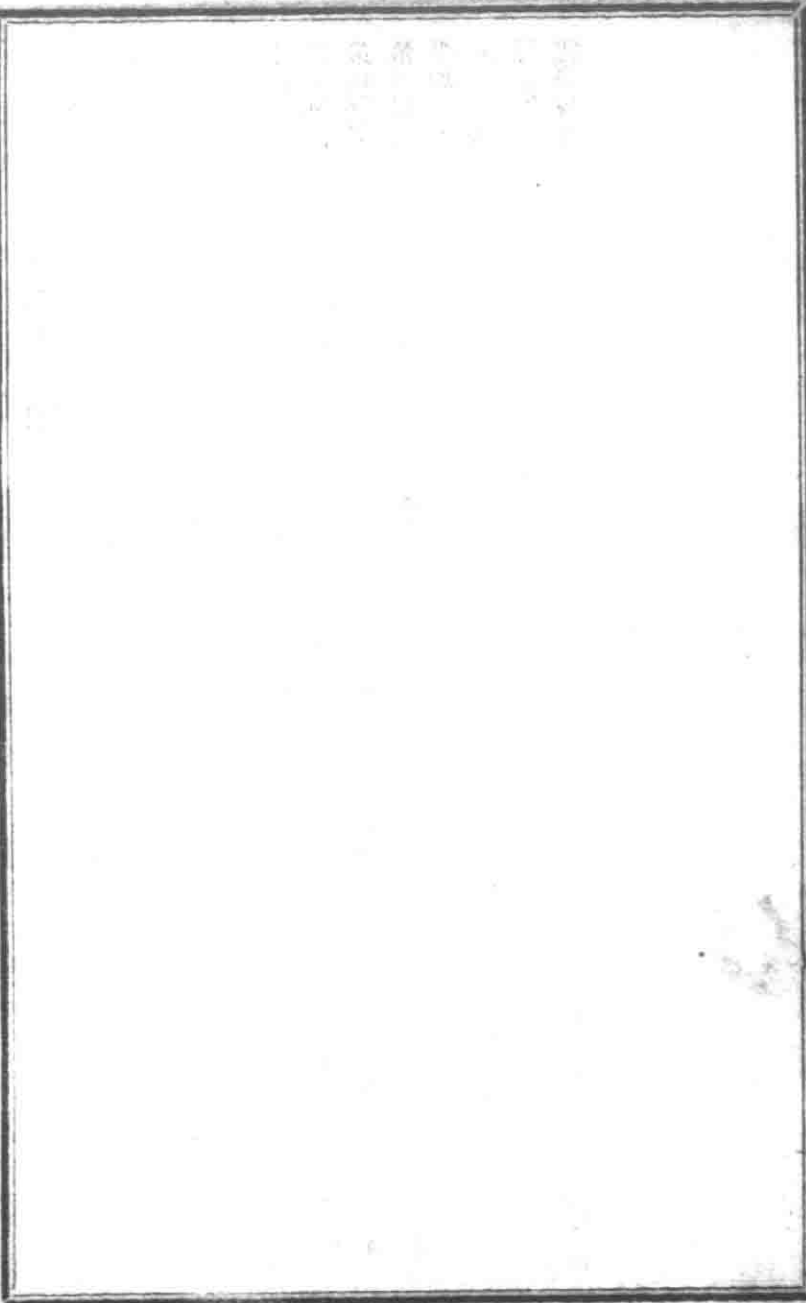
○ 觀 象

自五月廿六日至廿八日氣象

(和歌山測候所觀測)

種 目	五月廿五日		五月廿六日		五月廿七日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六一耗一	七五七耗四	七六二耗四	七五〇耗九	七五八耗五	七五四耗一
平均氣溫	一八度二	二〇度九	一九度四	一七度八	一八度五	一六度九
最高氣溫	二五度八	二五度五	二四度八	一九度九	二三度三	二一度三
最低氣溫	一一度六	一三度九	一三度九	一五度二	一四度九	一三度五
最多風向	西	南西	西	北	北	南西
平均風力	二米二	三米二	三米〇	一米四	二米四	一米六
天 氣	晴	晴	半晴	雨又曇	雨後曇	晴
降水量		〇耗二			一六耗六	五耗八
記事現象		夜間降雨	日暈ヲ映ス	曉間及午后降雨	午前降雨	曉間降雨

和歌山縣報 第八八二號 明治四十二年五月二十日 (第三種郵便物認可)



明治四十二年五月二十九日印刷  
明治四十二年五月二十日發行  
(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

印刷 和歌山市北休賀町六番地  
和歌山市北休賀町六番地